

ICMIF会員団体： 主要統計レポート 2024

ICMIF会員団体の概要(2024年)



ICMIF会員団体:主要統計レポート 2024

本報告書は、国際協同組合保険連合(ICMIF)による年次の「主要統計レポート」の最新版であり、協同組合／相互扶助の保険組織および関連団体の世界的ネットワークであるICMIFの、直近における会員団体の概要をまとめた報告書です。

本報告書ではICMIF会員208団体¹について、所在地域、法的枠組み、所属グループに基づく分析を掲載しています。また、ICMIF会員団体全体の2023年度における財務実績の概要(保険料収入、総資産、総投資額の合計など)や、保険事業種目別の内訳も含まれます。

本報告書の財務分析では、現在の会員団体全体の合計値について過年度を参照することがあります。その場合、過年度の合計値はそれ以降の会員団体の異動を加味して更新されており、以前の報告書に掲載されたデータに大幅な修正が生じた場合はその旨注記します。

¹ ICMIF会員団体の総数および関連分析は2024年12月16日現在。



2023年度のICMIF会員団体

2,280億米ドル
保険料収入
(2022年度:2,210億米ドル)



990億米ドル
生命保険事業 
(2022年度:980億米ドル)

1,290億米ドル
損害保険事業 
(2022年度:1,230億米ドル)

219,481人
雇用者数 
(2022年度:214,060人)

316,313,388人
会員／契約者数 
(2022年度:315,818,960人)

1.63兆米ドル
総資産
(2022年度:1.61兆米ドル)

1.34兆米ドル
投資
(2022年度:1.33兆米ドル)

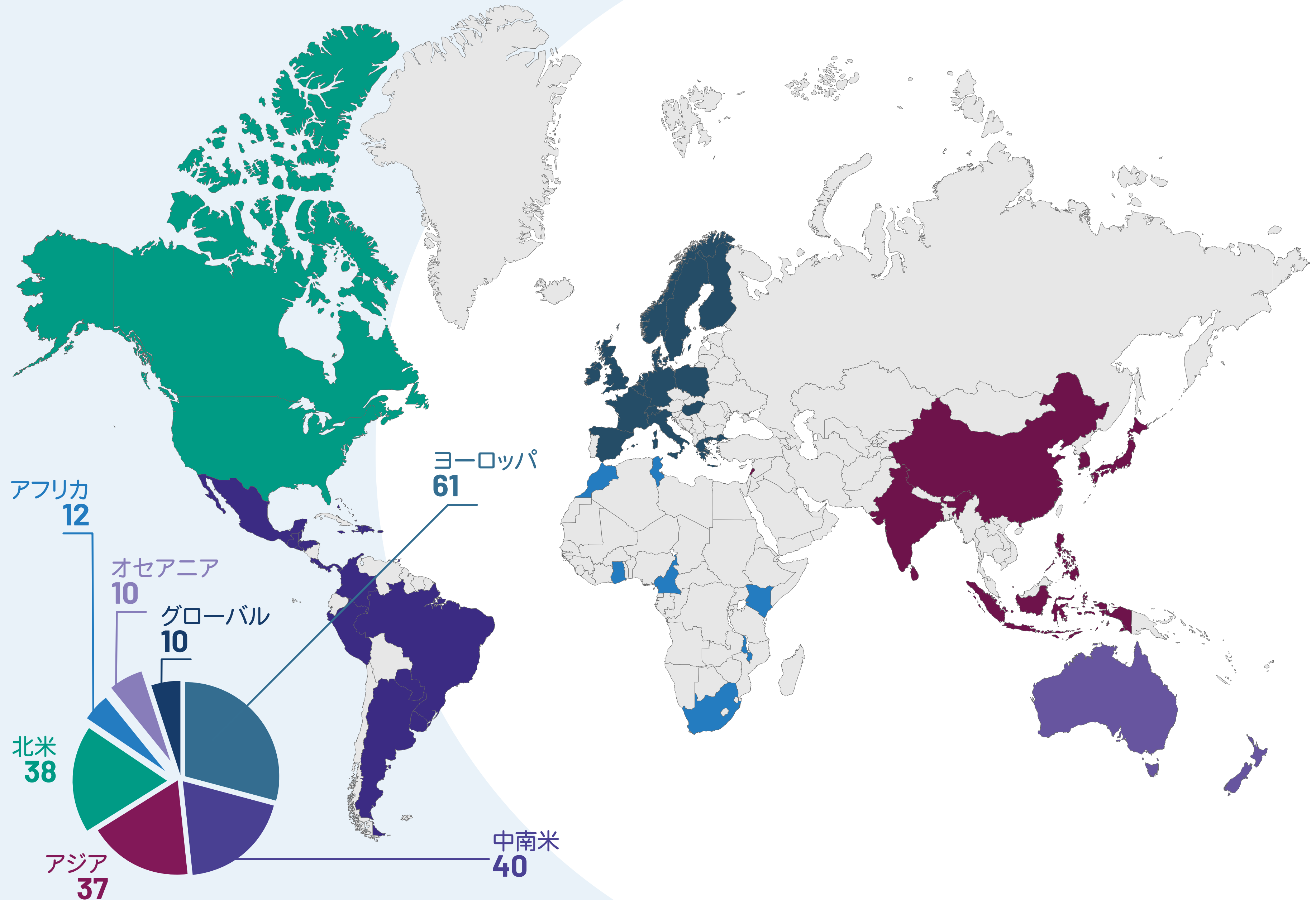


世界的な会員団体のネットワーク

ICMIFは6大陸、54か国の208会員団体が構成されています²。

ICMIF会員団体の29%(61団体)がヨーロッパ、19%(40団体)が中南米・カリブ海地域、18%(37団体)がアジア、そして18%(38団体)が北米を拠点としています。昨年の「ICMIF会員団体:主要統計レポート」では、北米の会員団体は全体の14%(28団体)に過ぎませんでした。

残る16%は、アフリカ(12団体)、オセアニア(10団体)の各地域を拠点とする会員団体に加え、グローバルに活動する会員が14団体あります³。



² 2024年12月16日現在。

³ オブザーバー会員である各種の世界的な協会および協賛会員を含む。

会員団体の種類

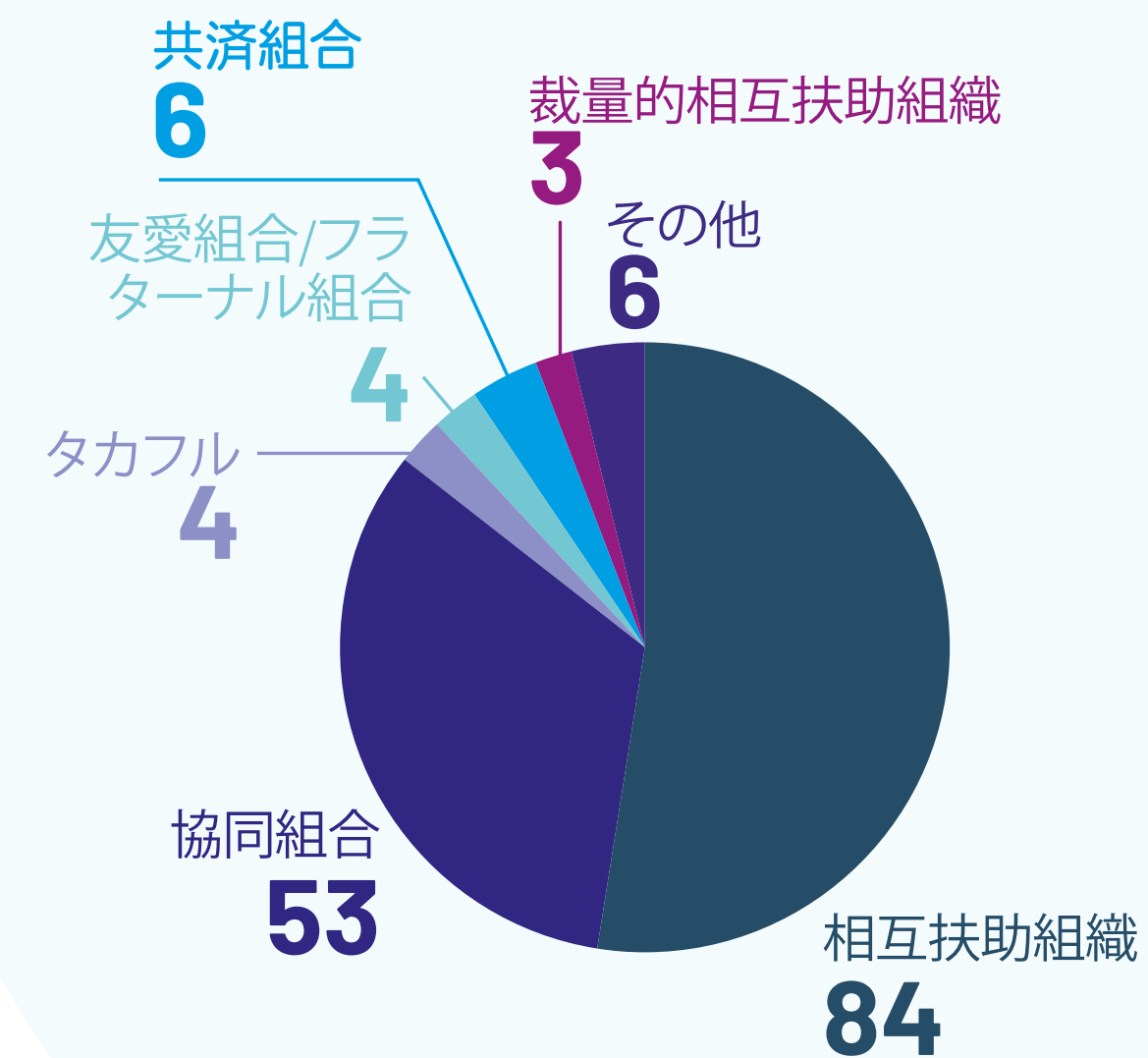
保険事業を実施する159のICMIF会員団体4の大多数(86%)が協同組合または相互扶助の保険組織です。内訳は、53%(84団体)が相互扶助の保険組織、33%(53団体)が協同組合の保険組織です⁵。

他の組織形態をとるICMIF会員団体には、非営利保険組織、タカフル保険組織⁶、友愛組合またはフラターナル組合、共済組合(MBA)、裁量的相互扶助組織、レシプロカル・エクスチェンジなどがあります。

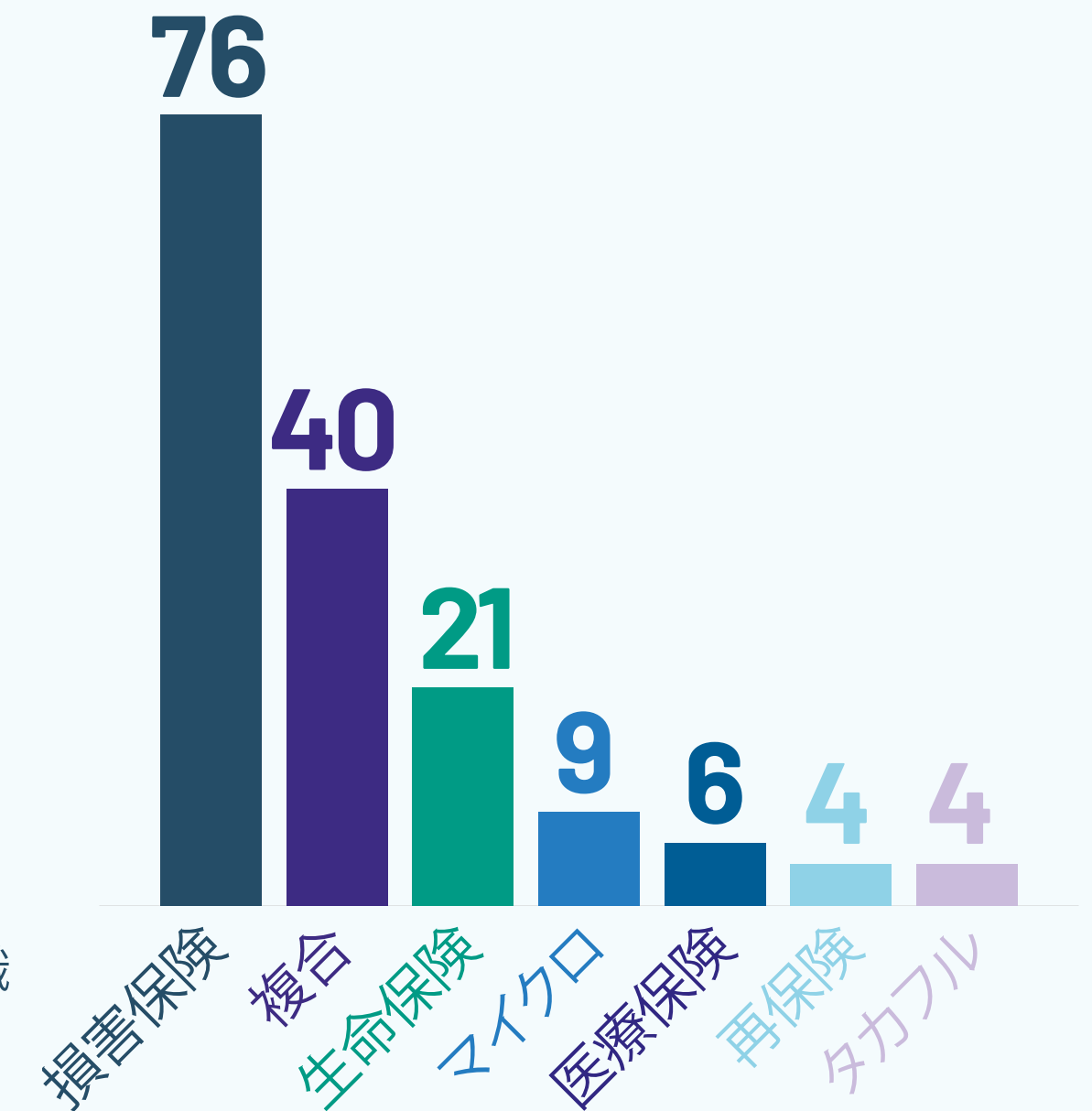
取り扱う保険の種類別では、損害保険組織がICMIF会員団体の48%(76団体)と多数を占め、専門の生命保険組織は13%(21団体)です。さらに、25%(40団体)が生命と損害の両事業を行う複合保険組織です。それ以外の14%の会員団体は、医療保険組織⁷、再保険組織、タカフルまたはマイクロインシュランス組織に分類されます。

⁴ この数値には正会員団体(協同組合/相互扶助の保険組織)および保険リスクを引き受けている准会員団体(タカフル準会員やマイクロインシュランス組織など)が含まれる。残る49のICMIF会員団体(各種協会、開発・教育機関、非営利の保険機関、その他の協同組合/相互扶助組織、および協賛会員など)は、その他の准会員またはオブザーバ会員である。
⁵ 法的形式を備えた)相互扶助の保険組織と協同組合の保険組織の両方が含まれる。また、協同組合/相互扶助組織が親会社または持株会社である、株式会社形態の保険組織も含まれる。
⁶ タカフル保険はイスラム保険とも呼ばれ、イスラム法(シャリーア)に準拠した会員中心の相互扶助保険の一形態である。
⁷ 医療保険組織または再保険組織に分類される一部の保険組織では、一定額の生命保険あるいは損害保険を(直接に)販売していることにも注意が必要。同様に、生命保険組織、損害保険組織、または複合保険組織に分類されていても、既に一定額の医療保険および(受)再保険の事業を計上している可能性もある。

ICMIF会員団体の組織形態



ICMIF会員団体の保険事業種目別内訳



会員団体の所属グループ

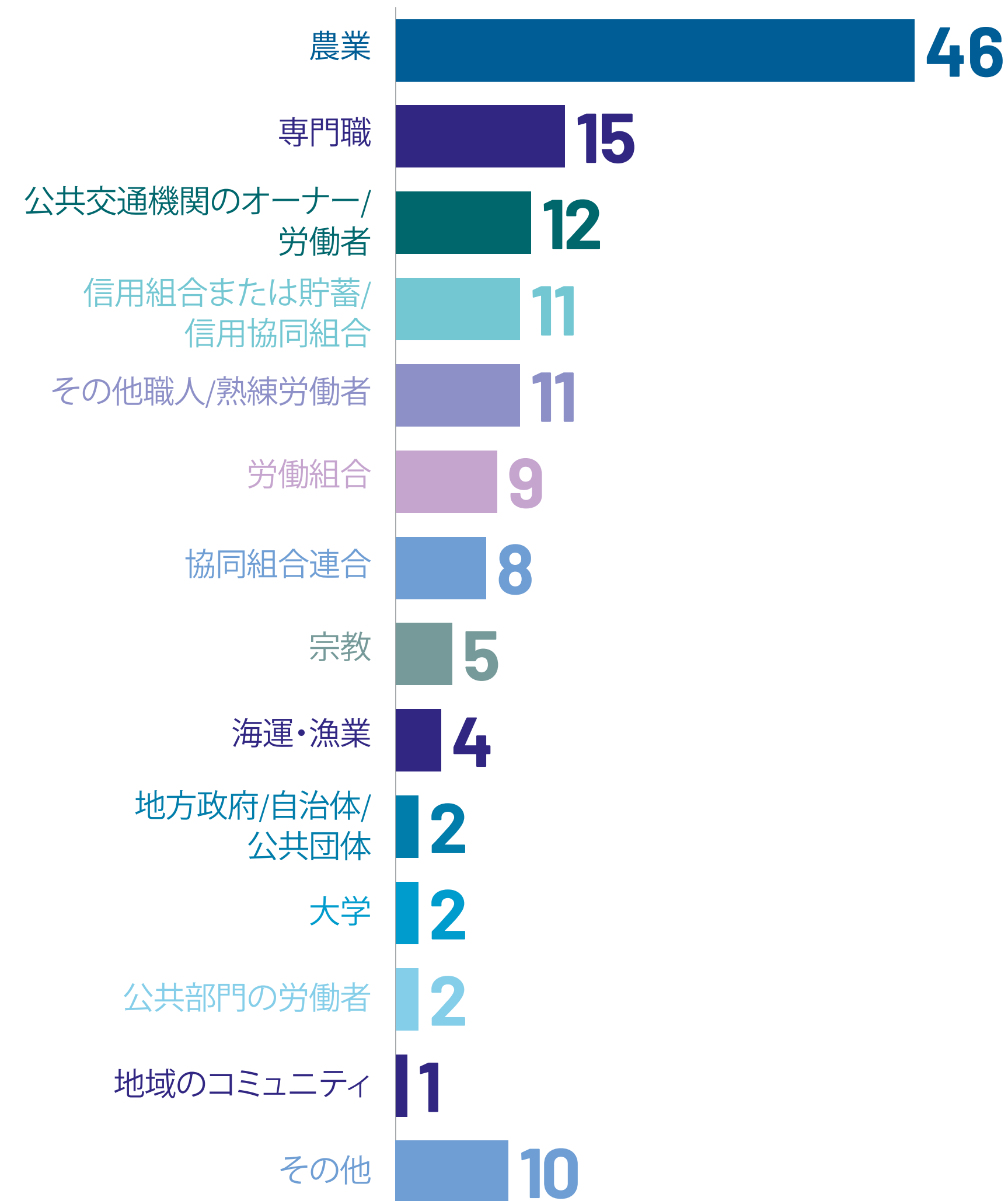
ICMIF会員団体⁸の87%(138団体)には明確な所属グループ(その組織がサービスを提供したり対処したりするために設立された本来的な共有の利益や共通の目標のこと)があります。ICMIF会員団体には、合計40を超えるさまざまな所属グループまたは共通の会員グループが存在します。会員団体に最も一般的な所属グループは農業で、46団体がこのカテゴリーに属します。

19の会員団体が、幅広い協同組合運動と密接に結びついており、そのうち11団体は信用組合や貯蓄協同組合に、残る8団体はその他の協同組合連合または協会に属しています。

専門職(弁護士、医師、教員、学卒者など)のグループに属しているのは15団体です。公共交通部門の労働者またはオーナー、その他職人/熟練労働者はそれに次いで多い所属グループであり、それぞれ12団体と11団体が該当しています。

⁸ 保険事業を実施するICMIF会員団体を指す。それ以外の10団体は、(現在においてまたは歴史的に)明確な所属グループが存在していないか、サービスを提供する(または元々サービスを提供するために組織が設立された)共通の会員/顧客グループが存在していなかった。

ICMIF会員団体の所属グループ



保険料収入

2023年度のICMIF会員団体の保険料収入は合計2,280億米ドルであり、そのうち43%(990億米ドル)が生命保険、57%(1,290億米ドル)が損害保険の収入でした。

2023年度の保険料収入合計は、2022年度の2,210億米ドルから名目ベースで3.1%の増加、インフレ調整後⁹では0.3%の減少でした。

ICMIF会員団体¹⁰の61%が、2023年度に現地市場の年間成長率を上回る成果を出しました。なお、2022年度の同比率は59%でした。

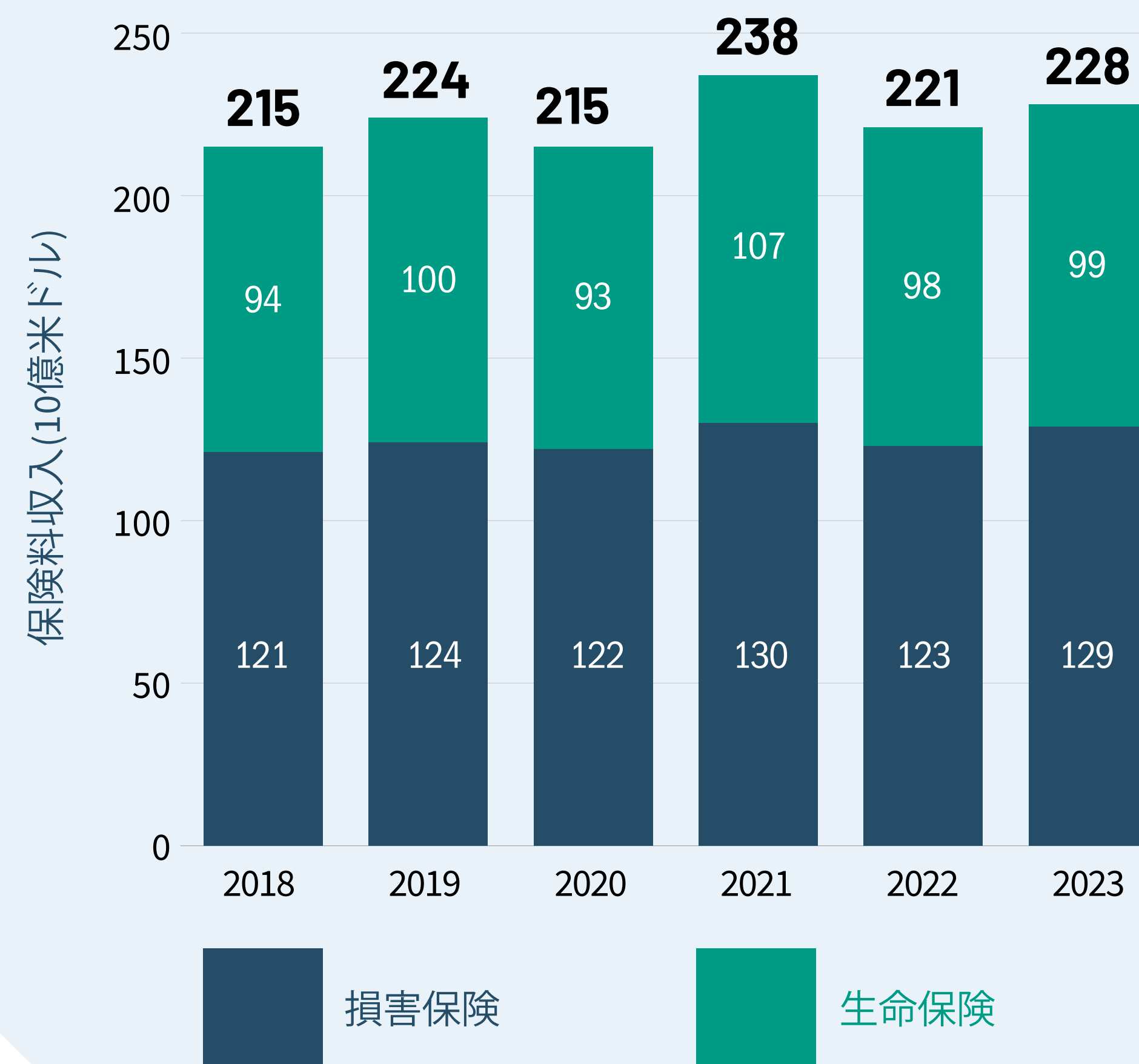
2023年度は、会員団体の保険料収入合計の58%(1,310億米ドル)をヨーロッパが占めました。アジアは22%(490億米ドル)、北米は17%(390億米ドル)をそれぞれ占めました。

ICMIF会員団体の地域別総収入保険料(米ドル) 2023年度	
ヨーロッパ	131.2 billion
アジア	49.2 billion
北米	39.3 billion
中南米	6.1 billion
オセアニア	0.8 billion
アフリカ	1.4 billion
全体	227.9 billion

⁹ 米ドル建て総計額の成長率は、異なる年における米ドルベースの同等価値を米国消費者物価指数(CPI)の過去データを用いて計算できる[インフレ計算ツール](#)を利用することでインフレ調整している。この調整により、すべての値について実質購買力を反映し、インフレの影響を考慮した実質ベースで表すことが可能となる。

¹⁰ 保険事業を実施する正会員団体。

会員団体の保険料収入合計



ICMIF会員団体の保険事業の種類

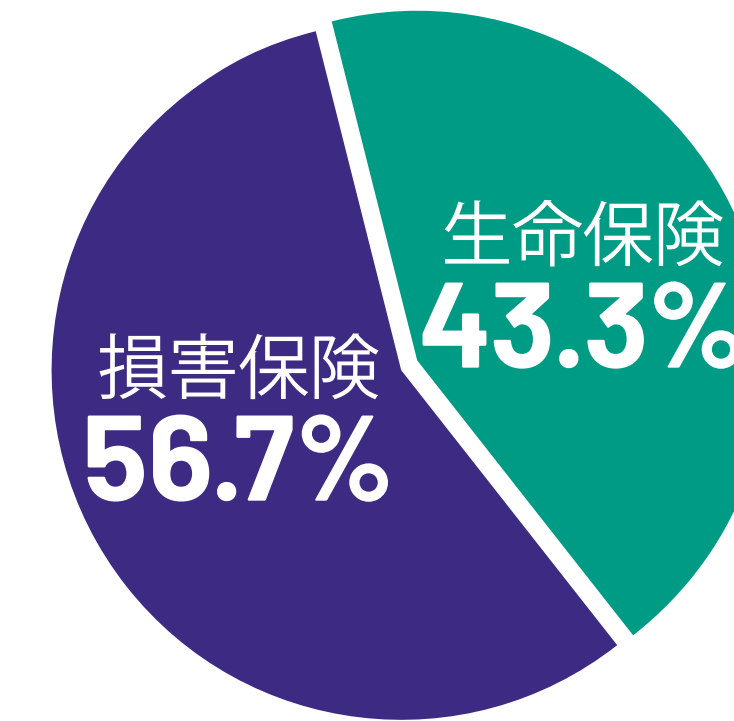
2023年度、損害保険事業はICMIF会員団体の保険料収入の過半にあたる57%を占めました。

ICMIF会員団体の損害保険料収入のうち最も割合が大きいのは自動車保険で28%(2022年度:29%)でした。次いで医療保険が23%(2022年度:22%)となっています。住宅保険は2023年に会員団体の損害保険事業の20%(2022年度:22%)を占め、再保険は会員団体の損害保険料収入の7%(2022年度:6%)を占めました。

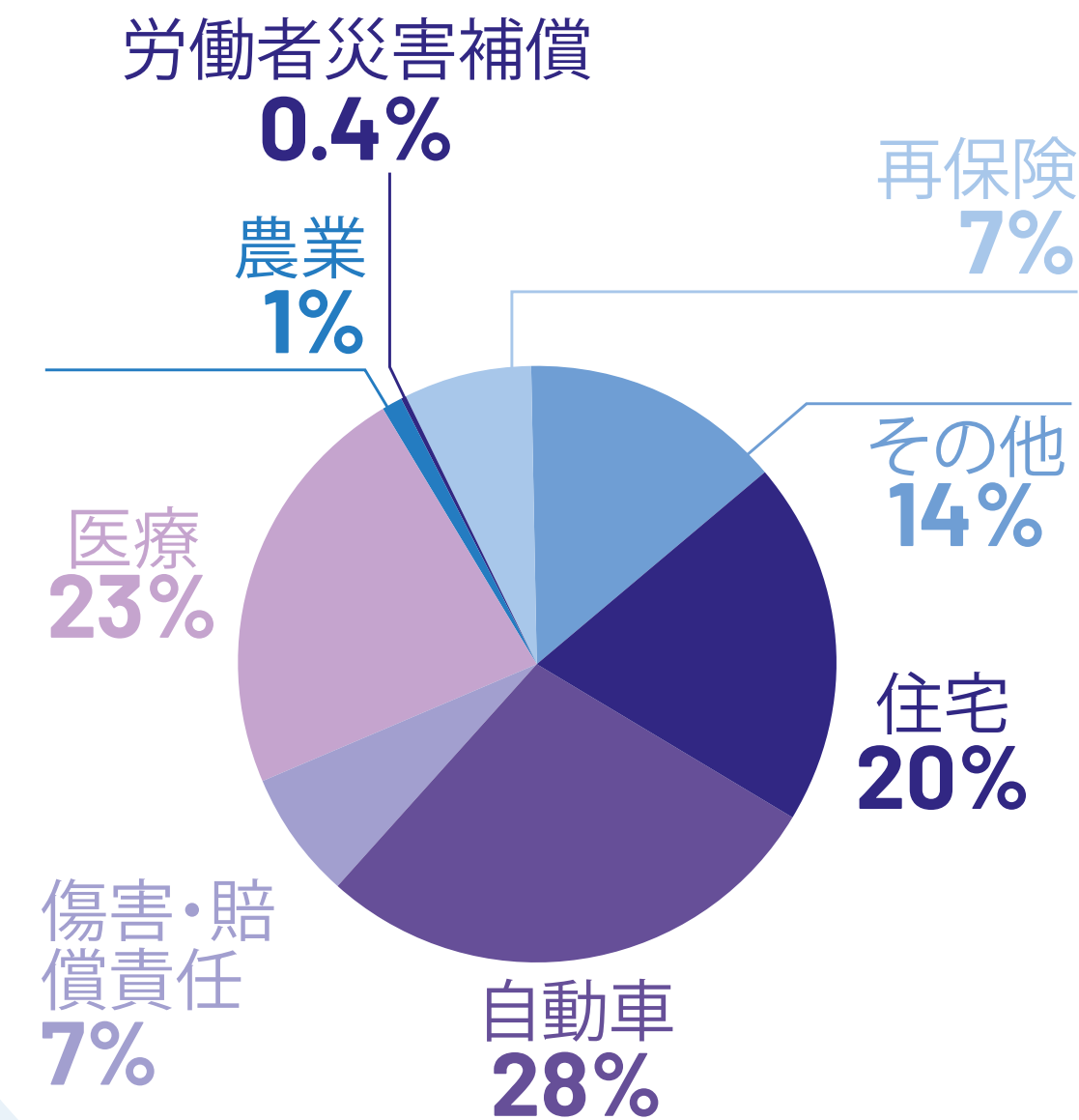
傷害・賠償責任保険は会員団体の損害保険料収入の7%(2022年度:9%)を占め、残る15%は労働者災害補償、海上、航空、輸送、企業財産、農業などのその他損害保険商品によるものでした。

2023年度、生命保険事業はICMIF会員団体の保険料収入の43%を占めました。

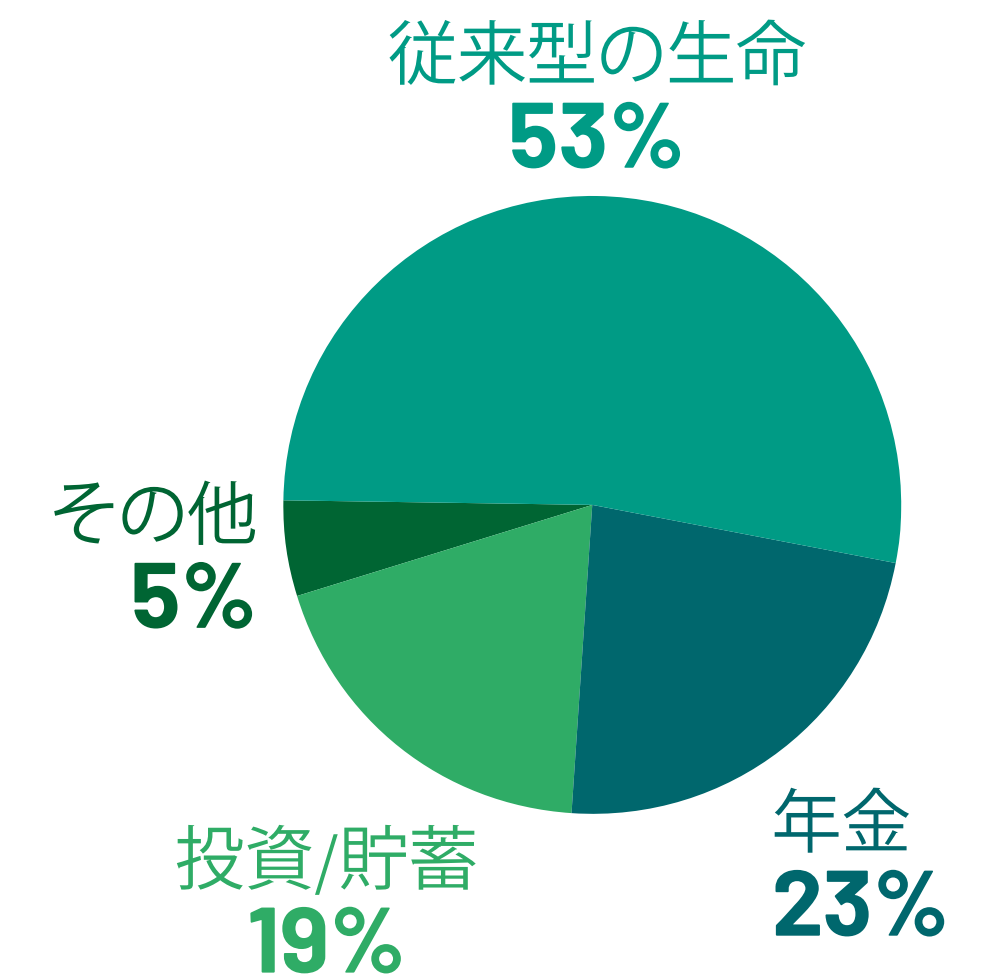
従来型の生命保険(または保障)は、2023年度における会員団体の生命保険料収入の53%(2022年度:46%)でした。年金商品は、2023年度における会員団体の生命保険料収入の23%(2022年度:24%)でした。投資・貯蓄商品が生命保険事業に占める割合は、2023年度は19%(2022年度:17%)でした。また、残る5%は所得補償商品などのその他生命保険商品によるものです。



損害保険事業の種目別内訳



生命保険事業の種目別内訳



損害保険料収入の地域別内訳

自動車保険は、北米(36%)、アフリカ(41%)および中南米(50%)の会員団体にとって最大の損害保険事業種目でした。住宅／財物保険はアジアの会員団体にとって圧倒的に主要な事業種目であり、同地域の損害保険料収入の47%を占めました。

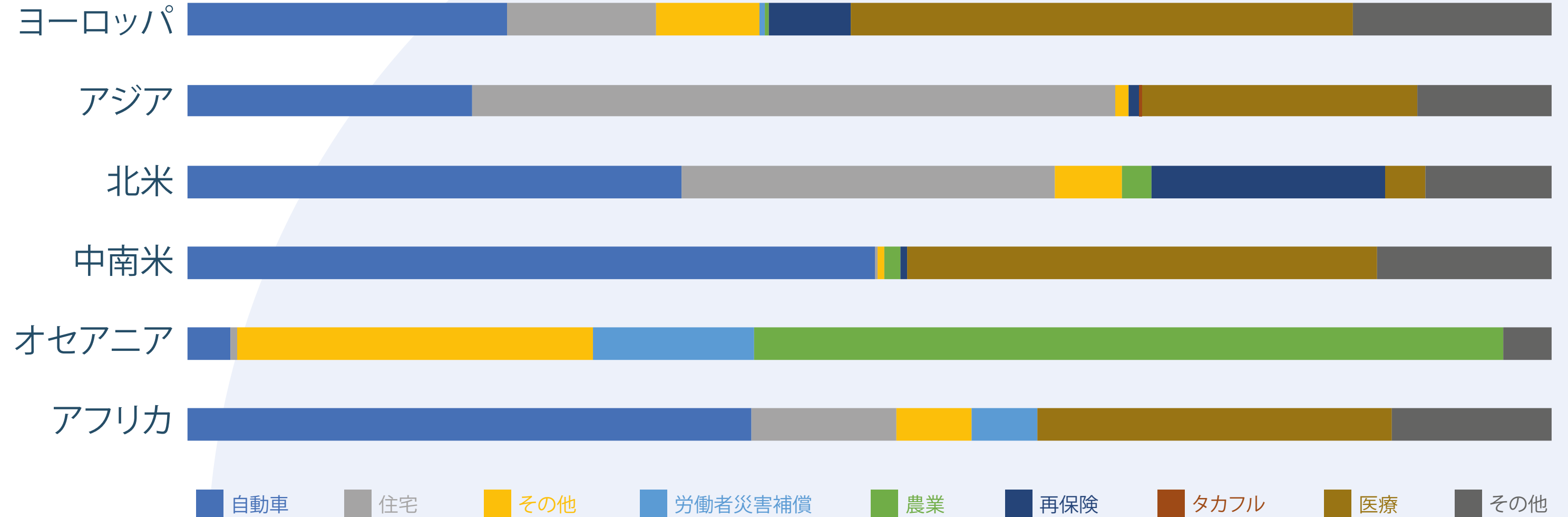
医療保険はヨーロッパで最も普及している損害保険であり、同地域の損害保険事業の37%を占める一方、農業保険の保険料収入の構成比が最も高かったのはオセアニアの会員団体(55%)でした。

生命保険料収入の地域別内訳

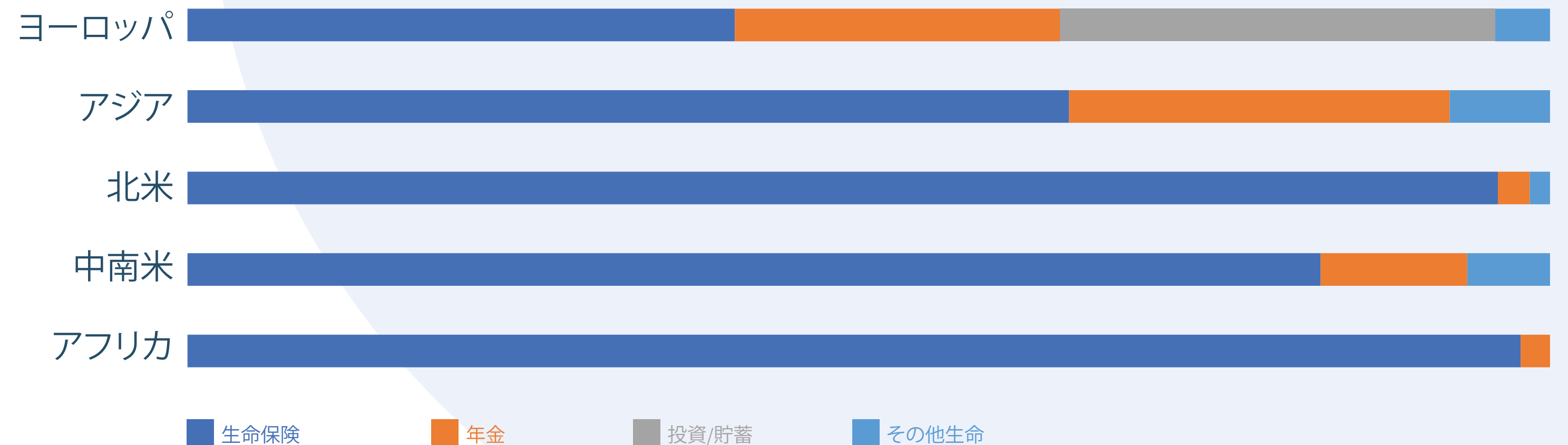
従来型の生命保険は、2023年も引き続きすべての地域で会員団体の最も主要な生命保険の種目でした。アフリカでは会員団体が販売した生命保険のほぼ98%、北米および中南米では96%超が従来型の生命保険でした。また、アジア(65%)、ヨーロッパ(40%)の会員団体にとっても最大の生命保険の種目でした。

年金商品は、アジアの会員団体で最も普及(28%)しており、これにヨーロッパ(24%)が続きます。投資・貯蓄商品の保険料収入の大半は、ヨーロッパの会員団体が引き受けており(同地域の生命保険料収入の32%)、他の地域ではこの種の商品はほとんど取り扱われていません。

損害保険・地域別内訳



生命保険・地域別内訳



ICMIF会員団体の保有資産

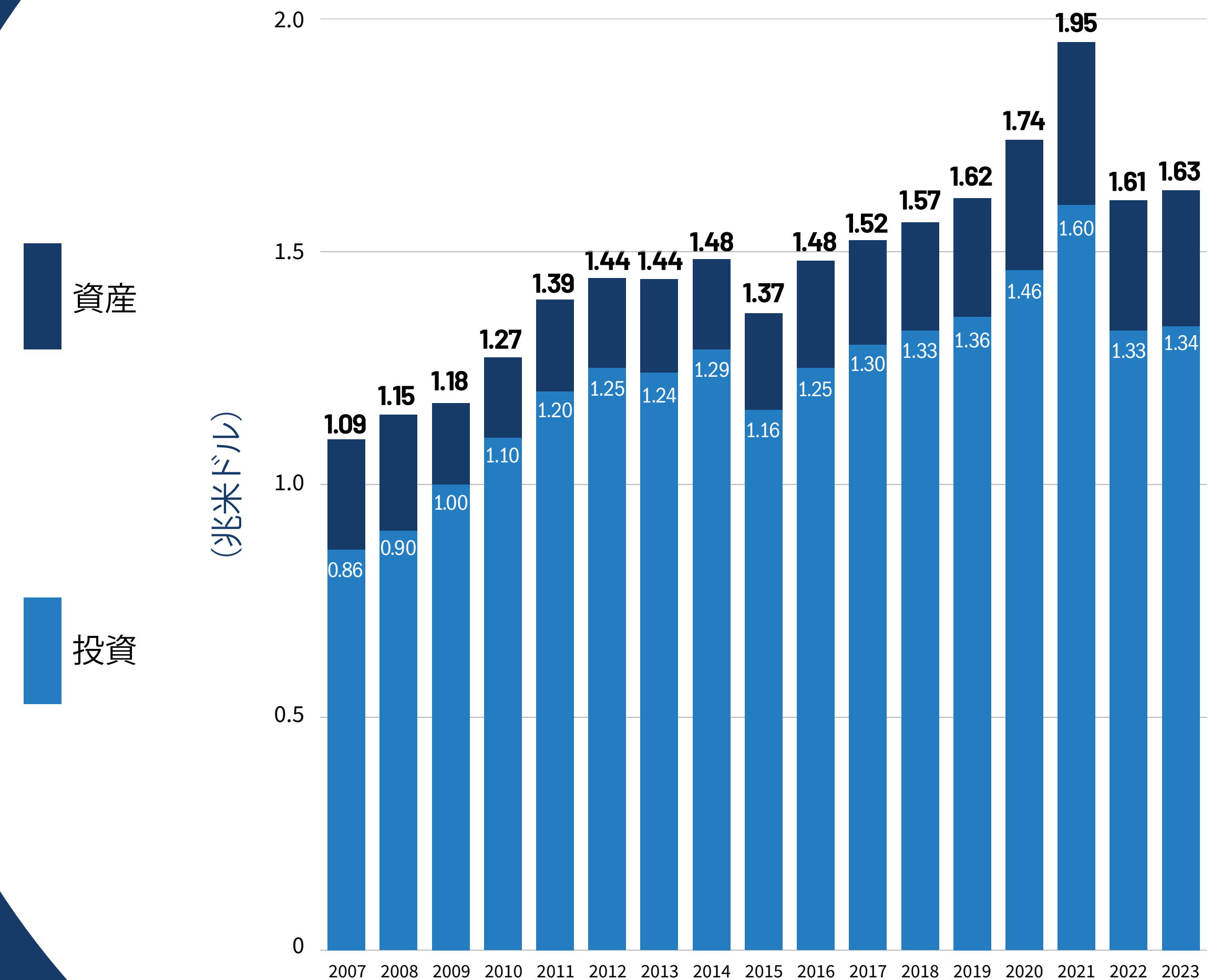
ICMIF会員団体の保有資産合計額¹¹は、名目ベースで2007年度から2021年度までの14年のうち13年で増加しましたが、2022年度には17%下落(インフレ調整後では22%下落)して1兆6,100億米ドルとなりました。

2023年度、ICMIF会員団体の保有資産額は名目ベースで1.2%伸び、1兆6,100億米ドルから1兆6,300億米ドルに増加しました。実質ベース(インフレ調整後)では、前年比2.1%の減少でした。

ICMIF会員団体が保有する投資資産の価値は、2023年度に1兆3,400億米ドル(2022年度:1兆3,300億米ドル)に達し、名目ベースで年間4.2%の増加、実質ベースでは0.8%の増加となりました。

保有資産規模で上位5位の会員団体が、2023年度における会員団体の資産合計額の58.8%(2022年度:56.2%)を占めています。一方、保険料収入で上位5位の会員団体は、2022年度における会員団体の保険料収入合計額の47.1%(2021年度:46.8%)を占めています。

ICMIF会員団体の保有資産合計



¹¹ ここで報告される資産の数値は、最近発行の「ICMIF会員団体サステナビリティ・レポート 2024」で報告されている運用資産(AUM)ではなく、企業による保有資産であることに注意が必要。保有資産とは個人や企業が保有する資産の総額を指し、AUMは金融機関やファンドが運用する資産の総額を指す。

ICMIF会員団体・総保険料収入トップ50(2023年度)

会員団体名	国名	保険料収入 (千米ドル)
1 JA共済連	日本	29,053,883
2 Achmea	オランダ	24,149,155
3 R+V	ドイツ	20,762,456
4 Aéma Groupe	フランス	16,959,306
5 Gruppo Unipol	イタリア	16,284,703
6 Royal London	英国	14,134,097
7 Desjardins	カナダ	10,282,360
8 HUK Coburg	ドイツ	9,767,873
9 Nonghyup Life	韓国	7,714,611
10 Thrivent	米国	5,731,000
11 Beneva	カナダ	5,330,838
12 Folksam	スウェーデン	4,942,088
13 MAIF	フランス	4,556,069
14 Co-operators	カナダ	4,170,225
15 ぐくみん共済 coop	日本	3,738,683
16 Wawanesa	カナダ	3,306,176
17 Nonghyup Property & Casualty	韓国	3,217,539
18 Länsförsäkringar	スウェーデン	3,213,785
19 NFU Mutual	英国	2,978,545
20 Shelter Mutual Insurance Company	米国	2,806,646
21 P&V	ベルギー	2,163,555
22 AmericanAg	米国	1,981,661
23 LocalTapiola	フィンランド	1,911,809
24 Grupo Sancor Seguros	アルゼンチン	1,514,645
25 Vaudoise Assurances	スイス	1,503,191

会員団体名	国名	保険料収入 (千米ドル)
26 コープ共済連	日本	1,463,473
27 Equitable	カナダ	1,220,987
28 LV=	英国	1,201,367
29 共栄火災	日本	1,194,633
30 IFFCO-TOKIO	インド	1,192,252
31 Seguros Unimed	ブラジル	1,184,534
32 Promutuel	カナダ	854,393
33 Grupo Asegurador La Segunda	アルゼンチン	780,049
34 Ecclesiastical	英国	764,824
35 San Cristóbal Seguros	アルゼンチン	745,809
36 Groupe IMA	フランス	735,533
37 Univé	オランダ	720,501
38 NACUFOK	韓国	693,996
39 Fédérale Assurance	ベルギー	546,790
40 Sygeforsikring "danmark"	デンマーク	539,703
41 LB Group	デンマーク	532,147
42 Gore Mutual Insurance	カナダ	518,196
43 Seguros Rivadavia	アルゼンチン	477,799
44 GF Forsikring	デンマーク	459,012
45 Harford Mutual	米国	436,853
46 Pennsylvania Lumbermens Mutual	米国	424,200
47 SBLI	米国	400,035
48 MAMDA-MCMA	モロッコ	386,775
49 PPS	南アフリカ	366,790
50 Cooperativa de Seguros Múltiples de Puerto Rico	プエルトリコ	357,315

ICMIF会員団体の完全な保険料収入ランキングは[こちら](#)でご覧いただけます。

ICMIF会員団体:主要統計レポート 2024

ICMIFリサーチチーム:

プロジェクト・マネージャー兼主執筆者:ニック・ドワイヤー (金融リサーチ担当マネージャー)

プロジェクト・スーパーバイザー:ベン・テルファー (会員担当シニア・バイスプレジデント)

編集:アリソン・グラント (コミュニケーション担当マネージャー)

デザイン:マイケル・ジョンソン (グラフィック・デザイナー)

2024年12月発行

当出版物の著作権は国際協同組合保険連合(ICMIF)に帰属します。当出版物のいかなる部分も、発行者の書面による事前の許可なしに、コピー、記録、または情報保存および検索システムなどの、電子的または機械的ないかなる形式または手段によっても複製または送信することを禁じます。

著作権 © 国際協同組合保険連合 (ICMIF) 2024年

詳細は以下をご覧ください。

www.icmif.org

フォローする:



ICMIF, Denzell House, Dunham Road, Bowdon, Cheshire, WA14 4QE, UK

Tel: +44 161 929 5090

国際協同組合保険連合(ICMIF)は、世界中の会員団体に競争優位性をもたらすために活動するベストプラクティス重視の団体です。ICMIFは戦略および最新のマーケット情報を共有し、会員である協同組合/相互扶助の保険組織の成長を支援します。

icmif
国際協同組合保険連合